

テーマ

食と農をつなぐ^{ゆいっこ}CSA*が描く地域の未来



私たちは、これからも地域の農産物を食べながら、暮らし続けていけるのでしょうか？
課題解決のカギは、農家と住民との深いかわり合いにあるのかもしれない。

NPO法人鳴子の米プロジェクトでは、今年度から2年間、トヨタ財団の助成を受けて、地域と農家がつながり支え合う「プロジェクト鳴子CSA」事業に取り組んでいきます。

食の作り手と食べ手が積極的にかかわって、地域の暮らしを守っていく新しい仕組み—それが、「CSA」です。

結城登美雄先生を総合アドバイザーに『CSA塾』開催し実践のあり方を考えていきますが、第1回目のご講演を広く公開することにいたしました。NHKが制作したアメリカにおけるCSAの番組映像をご覧いただき、会場との意見交換をまじえて進めていきます。食と農、都市と農村が手をむすび相互に支え合う、そんな地域の未来の姿をいっしょに考えませんか？

*CSAとは

Community Supported Agricultureの略。地域が農家を支援し、農業と安全安心な食を守る仕組み。アメリカで生産者と消費者が直接取引する方法として発展し、地域の暮らしと経済を再生する大きな力になっています。

講師

結城 登美雄（ゆうきとみお）氏



民俗研究家。東北地方を中心に約600の農山村集落を訪ね歩き、「地元学」を提唱。その思想と手法で、食の文化祭、なんでもやなど、全国農山村の再生への多様な実践をプロデュースする。鳴子の米プロジェクト主催「食の哲学塾」のメイン講師を務める。2004年に文部科学省芸術選奨、2011年に河北文化賞を受賞。著書に「東北を歩く 小さな村の希望を旅する」（新宿書房）、「地元学からの出発」（農文協）、「命をつなぐみやぎの食と農」（仙台農業協同組合）など。1945年生まれ。

とき

2018年 6月3日（日）14:30～17:00

ところ

鳴子公民館 ホール 〒989-6811 宮城県大崎市鳴子温泉字鷺ノ巣85-4 0229-82-2101

参加費：300円

対象：地域づくり、食や農業、CSAに取り組んでいる方、関心のある方（学生さん大歓迎!!）

定員：70名

お申込み：裏面の申込書にご記入いただくか、同様の内容を添えて、FAXまたはE-mailにて、

5月31日(木)までお送りください。

▶お問い合わせ/申込み先

特定非営利活動法人 **鳴子の米プロジェクト**

〒989-6832 宮城県大崎市鳴子温泉字星沼77-84

TEL/0229-29-9436 FAX/0229-29-9437

E-mail/komepro181@yahoo.co.jp



公益財団法人
トヨタ財団
本事業はトヨタ財団2017年度国内助成プログラム<そだてる>の助成金により実施しています。

会場地図



鳴子公民館 ホール
〒989-6811 大崎市鳴子温泉字鷺ノ巣85-4
電話 0229-82-2101
JR古川駅より陸羽東線で約45分、
「鳴子御殿湯駅」からすぐ、徒歩1分

申 込 書

FAX 0229-29-9437

E-mail komepro181@yahoo.co.jp

必要事項をご記入のうえ**2018年5月31日（木）まで**に、FAXあるいはE-mailでお送り下さい。

お名前		
ご所属等		
連絡先	住所（〒 - ）	
	電 話	
	E-mail	
ご意見	ご意見、メッセージがございましたら、自由にご記入ください。	

※複数人数でお申し込みの場合は、全員のお名前と、代表者の連絡先をご記入ください。